

製品・サービス動向-国内

■シネックスインフォテック：日本エイサー製「Chromebase for meetings」専用端末 Chromebase 24「CA24V-N14K」の販売開始

(6月9日)

シネックスインフォテック株式会社 (<http://www.synnexinfotec.co.jp/>) (東京都江東区) は、グーグルの Chrome OS ベースのテレビ会議システム新製品日本エイサー製「Chromebase for meetings」専用端末 Chromebase 24「CA24V-N14K」の販売を開始する。



Chromebase 24「CA24V-N14K」

(シネックスインフォテック)

省スペース、少人数での利用を想定し、簡単にテレビ会議を開始できるとともに、Chrome OS で動作するので、高速で安全、管理が容易といった点が特長。

本体には、23.8 型大画面フル HD 液晶パネル (IPS パネル、10 点マルチタッチ対応)、集音マイク (4 カ所に内蔵)、Web カメラ (100 万画素、上下に最大 30° 調整可能なカメラアングル用のツマミあり)、スピー

カー (液晶画面下部) を内蔵したオールインワンタイプの Chrome OS 搭載パソコンで、グーグルが提供するテレビ会議システム (Cfm) を利用するための専用端末として提供する。

また、別の液晶モニターを接続することができる HDMI 出力端子も搭載。活用方法としては、たとえば、ミーティング先の映像を表示しながら、別の液晶モニターでプレゼン資料などを表示して、同時に閲覧できるといった使い方ができる。

その他、1000BASE-T 対応有線 LAN (RJ45) ポートを搭載しているほか、IEEE802.11ac/b/g/n に準拠した

無線 LAN にも対応している。また、USB 接続の日本語 Chrome キーボード、マウスが付属している。テレビ会議中に、共有資料の修正、テキスト入力、議事録の

メモ書きなどをキーボードとマウスを使って素早く行えるといった便利さがある。

年間の Cfm 利用ライセンス (デバイス 1 台につき 35,000 円) を支払うことで、管理とサポートのサービスを受けられる。本体と Cfm 利用ライセンスおよび保守をセットして、1 式 135,000 円 (税抜き) と非常に安価ながら、簡単に高品質なビデオ会議を実現するという。

国内 Google Cfm 販売リセラーを通して 7 月中旬より販売する。



ビジネス動向-国内

■ブイキューブ：低価格な会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」にロジクール「GROUP CC3500e」を採用

(6月8日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、株式会社ロジクール (<http://www.logicool.co.jp/ja-jp>) (東京都港区) が提供する、大人数のグループ会議に適したカンファレンスカメラ「ロジクール GROUP CC3500e」を、テレビ会議システム「V-CUBE Box」に採用したと発表。



V-CUBE Boxのイメージ



V-CUBE Box本体とロジクール GROUP CC3500e

(ブイキューブ、ロジクール)

V-CUBE Box は、従来のテレビ会議システムより約 1/3 の低価格で、リモコンによる簡単操作で多拠点との会議(MCU がなくても 100 拠点以上の接続が可能) や打ち合わせを行うことができ、2015 年の発売以来好評を得ている。

シンプルなインターフェイスで資料共有とリモコン操作を実現し、外出先などから PC やスマートフォン、タブレットから参加することが可能。さらには、会議予約などの管理負担が少なく、24 時間 365 日のカスタマーサポートで安心した利用環境が提供されている。

今回、ロジクールが 2016 年 4 月から販売を開始したカンファレンスカメラ CC3500e を V-CUBE Box の

パッケージとして新たに採用し、より高画質な映像と高品質な音声通話によるテレビ会議環境を実現した。

保有するテレビ会議システムの安価な拡張や入替えを希望しているユーザ、PC ではなく会議室用の専用機としてテレビ会議を購入したい企業にとって最適な製品という。

一方、カンファレンスカメラ CC3500e は、カメラヘッドにはカールツァイス社製光学レンズと 300 万画素の画像センサー、デジタルズーム (x10)、オートフォーカス機能を搭載。90° の広画角レンズを内蔵モーターで上下左右に回転させることができるメカニカルパン&チルト機能で、水平方向 260°、垂直方向

130° までの超広視野角での撮影が可能。

また、内蔵 H.264 エンコーダにより、最大 1080p/30fps の滑らかなフル HD 動画でテレビ電話を行える。

マイク性能の面では、広帯域でクリアな音声通話を実現するデジタル信号処理 DSP を搭載。周囲最大 6m の音をピックアップする 4 つの無指向性マイク、周囲の雑音を排除するエコー&ノイズキャンセリング機能に加え、新技術となるビームフォーミングテクノロジーを搭載。内蔵マイクそれぞれに搭載された計 4 つの音声ピックアップビームが発声者の位置を特定し、発声者以外の音声を 3dB 下げることによって、より高品質な音声通話を実現させた。

また、さらに大人数となる会議の際は、拡張マイク (別売り) を使用することで、周囲最大 8.5m まで音のピックアップ範囲を広げることが可能だ。

その他、Bluetooth 接続とプラグアンドプレイの USB 接続に対応。また対応端末をかざすだけで簡単にペアリングできる NFC 機能も搭載している。

■Logitech International とバイキューブ：ビジュアルコミュニケーションサービスの拡販をグローバルで推進するパートナーとして提携

(6月8日)

株式会社ロジクール(<http://www.logicool.co.jp/ja-jp>) (東京都港区) の親会社である Logitech International 社 (米国・カリフォルニア州) と株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、ビジュアルコミュニケーションサービスの提供を通して企業におけるワークスタイル変革に貢献していくため、両社製品・サービスの販売ならびに R&D を強力に推進するパートナーとして提携する。

Logitech 社は、グローバルで実施している Logitech Collaboration Program において、APAC 初のパートナーとしてバイキューブを認定する。

第一弾として、ロジクール映像音声デバイスとバイキューブのテレビ会議システムを組み合わせ、従来のテレビ会議システムをより低価格で、高画質な映像と高音質な音声通話を実現するテレビ会議システムを提供する。市場の競争優位性を高め、新たにビジュアルコミュニケーションサービスを必要とする顧客に最適な製品・サービスを提供するとしている。

Report

※CNA レポート・ジャパン橋本啓介による検証レポート

■バイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する
<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■バイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証 (前編)

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■バイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証 (後編)

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニア VC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテクソリューションズ
(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社バイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社バイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html

■【札幌開催!!】失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：6月16日(木)

会場：第1回：13:30～15:00 (受付：13:00～)

第2回：16:00～17:30 (受付：15:30～)

※各回ともに同じ内容です。

会場：株式会社三好商会 2F Kozy Hall (札幌市中央区)

主催：株式会社バイキューブ

詳細・申込：https://jp.vcube.com/event/seminar/20160524_1500.html

■【名古屋開催!!】失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：6月24日(金)

第1回：13:00～14:30 (受付：12:30)

第2回：16:00～17:30 (受付：15:30)

※各回ともに同じ内容。

会場：名古屋プライムセントラルタワー (名古屋市西区)

主催：株式会社バイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/20160509_1300.html

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー

～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめるワークスタイル変革～

日時：6月29日(水) 10:00～17:00 (受付：9:30～)

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/16K083.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年6月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp